

Costume and Textile

No. 41

服飾文化学会会報

2021年3月

2021（令和3）年度 服飾文化学会第22回大会のお知らせ

服飾文化学会 第22回大会を下記の通り開催いたします。多くの皆様にご参加くださいますようご案内申し上げます。

【服飾文化学会 第22回大会】

開催日時 2021年5月22日(土)

10:00~16:50終了予定

【不測の事態の予備日として5月23日(日)】

開催校 杉野服飾大学

開催形式 オンライン会議システム「Zoom」を使用したオンライン大会

1. 大会プログラム

[ライブ配信]

10:00~11:05 開会の辞

10:05~11:25 特別講演

11:35~16:50 (予定) 口頭発表

ポスター発表・作品発表 ショートスピーチ

17:00~17:30 総会・閉会の辞

[オンデマンド配信]

9:00~18:30 ポスター・作品発表 (スライド画像)

※発表件数によっては時間変更が生じますので、後日HPに掲載するプログラムのご確認をお願いします。

2. 発表・参加申込: taikai.fukubun@gmail.com

(1) 発表申込締切日 2021年3月27日(土)

- ①既に、第22回大会ご案内メールにてお送りしました「発表要項」(2種)に沿って、第22回大会実行委員会までEメールにてお申込みください。(3/27必着)
- ②発表形式には、口頭発表・ポスター発表・作品発表の3種があります。
- ③発表は、未発表の研究報告で、共同発表者とともに本会会員に限られます。非会員の発表希望者は学会ホームページから入会手続きをお願いいたします。

(2) 要旨原稿締切日 2021年4月24日(土)

提出メールアドレス: taikai.fukubun@gmail.com

詳細は開催のお知らせメールをご確認下さい。

(3) 参加申込・払込締切日 2021年5月7日(金)

参加申込: 第22回大会ご案内メール、学会HPに記載された申込フォームにてお申込みください。

参加費:

会員	1,000円
非会員	2,000円
学生会員・非学生会員	無料

振込先: ゆうちょ銀行 振込口座 00140-1-421039

加入者名: 大西 桜子 (オオニシ サクラコ)

振込みの確認が済みましたら、開催3日前にZoomのURLを送信いたします。

3. 特別講演

◇講師 大町志津子氏 国際衣装美術デザイナー

◇演題 「イタリアやヨーロッパでの舞台衣装デザイナーの経験と作品」

◇プロフィール イタリア国立ヴェネツィア・アカデミア絵画部卒業後、ミラノ・ファッション専門学校セコーロで学ぶ。コンテスト「ミラノ・モード」の夜会服制作で銀賞。ローマでアカデミー・衣裳デザイン賞受賞のベスクッティ氏のアシスタントになる。ハリウッド映画の衣裳製作に数々関わった後、国立ローマオペラ劇場でバレエ衣裳デザイナーとして、またラ・フェニーテ劇場でオペラ部門でもデビューを果たす。

4. 連絡先

服飾文化学会 第22回大会実行委員会

taikai.fukubun@gmail.com

〒141-8652 東京都品川区上大崎4-6-19

杉野服飾大学 西洋服飾史研究室 鈴木桜子

ssuzuki@sugino.ac.jp TEL 03-691-4422

2020（令和2）年度 第21回服飾文化学会大会の報告

2020年11月7日(土)第21回大会がオンライン会議システムZoomで開催され、91名（会員・非会員80名 学生会員・非会員11名）の参加者のもと、無事に終了することができました。これもひとえに会員の皆様方、初めてのオンライン開催にもかかわらず周到な準備をいただきました、事務局と、座長をお引き受けいただいた先生方のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当初、通常の5月開催のために準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか止まず、服飾文化学会の大会の開催も翻弄されることとなりました。開催校の和洋女子大学としても、是非ご来場いただきまして先生方の研究発表の場を持たせていただきましたかったのですが、やはり人数が集まるイベント等の開催は厳しい状況となり、まずは大学以外の会場の選択から始めたように記憶をしています。ただ、本学会は研究発表のほかに作品展示という特色もあるため、なかなか相応しい会場も見当たらず、また他学会でもオンライン開催を行い初めたことも後押しとなり、本学会でもオンライン開催へと切り替えることとなりました。

何度となくオンライン会議を重ね、試行錯誤の中で利点と対応策が挙げられました。

利点としては、遠方の先生方の参加や発表が増えるのではないかと、同日に開催されている研究会の移動が可能になるのではないかとということです。また学生の皆さんも参加がしやすくなるのではないかとということです。

実際に、「流水杜若文様の紅型衣裳にみる日本の影響」の口頭発表では、発表者と沖縄の先生との質疑応答を視聴することができ、有意義に進行していきました。

対応策といたしましては、発表者や参加者のIT環境に障害が生じた場合の対策や、前日のリハーサル、当日の動作確認等の準備がされました。

些かの難しさを感じましたのは作品展示でありました。本来は展示をする側も拝見する側も実物を展示したい、見たいと思うのが常ですが、それが叶わず、オンライン上でどれだけの臨場感を出せるのか、検討課題を残したところです。

プログラムにある「交通事故防止に寄与するデザイン教育の実践—視認性とファッション—」のように、これからは生活の質の向上を目指す作品展示のご発表なども多くなっていくことを考慮すると、実践して披露する場はやはり大切ではないかと感じました。

本大会では、特別講演・情報交換会の開催ができず、非常に残念でありました。本来学会は、様々な大学の教員や研究機関に属する研究者らが集まり、懇親を深めることにより新たな研究のアイデアや、さらなる活力をいただいていたように思います。

通常開催とは、緊張感や時間の流れ方の違いを感じた大会でありました。

ITに不慣れであり、最良の提案を申し上げられなかったことを反省し、お詫びとともにご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(大会実行委員長 伊藤瑞香)



(作品展示の映像)

<第21回 大会プログラム>

開催日時 2020年11月7日(土)

開会の辞 13:00~13:05 長崎巖 会長

【口頭発表】

13:05~14:35 (発表12分、質疑3分)

✳司会進行 内村理奈(日本女子大学)

✳座長 中西希和(秋草学園短期大学)

A-1 19世紀後期のルーヴル百貨店におけるスコットランド風男児服

お茶の水女子大学 新實五穂

A-2 1920年代フランスのモード誌にあらわれた麻雀

—女性たちの中国趣味—

日本女子大学 田邊しずか

✳座長 藤井裕子(女子美術大学)

A-3 大正時代のきものにおける新意匠の出現と普及

—「アール・デコ」の意匠を中心に—

共立女子大学博物館 小池奏衣

A-4 流水杜若文様の紅型衣裳にみる日本の影響

大妻女子大学 須藤良子

✳座長 沢尾絵(東京家政大学)

A-5 東通村の修験系神楽「翁」を中心とした衣装の比較調査

文化学園大学 角谷彩子

A-6 刑罰的切腹時の死装束の色—「浅葱」と「浅黄」の表記を中心として

帝京大学 コルネーエヴァ・スヴェトラーナ

C-2 「交通事故防止に寄与するデザイン教育の実践—視認性とファッション—

相模女子大学 角田千枝

C-3 西洋服飾史実物資料のレプリカ制作(6)

—1900年初頭のデイ・ドレス—

東京家政大学 倉みゆき

C-4 半纏の構造的展開

—和と洋の構成から創る羽織物—

*共立女子大学、**北陸先端科学技術大学院大学、

***山梨県立大学 高橋由子*、宮武恵子*、

増田貴史**、杉山歩***、田中淑江*

C-5 1920年代の東京女子専門学校における洋裁教育内容(子ども服)の検討について

—裁縫雛形女児服の実寸大レプリカの制作—

東京家政大学 杉野公子

C-6 ロマンティックスタイルのドレスの構造

—レプリカ製作—

文化学園大学 加々美真由

C-7 副資材を使用した装飾技法について

—ファスナーを使用したデザイン発想—

文化学園大学短大部 小出恵

C-8 レディースマーケットを想定したパーティスタイル

—ジャポニズムのイメージからのデザイン発想—

*共立女子大学、**北陸先端科学技術大学院大学、

***山梨県立大学 宮武恵子*、増田貴史**、

杉山歩***、高橋由子*、田中淑江*

閉会の辞 15:41~15:50 田中淑江 副会長

《休憩》

【ポスター・作品展示ショートスピーチ】

14:45~15:41(スピーチ5分、質疑2分)

✳司会進行 伊藤瑞香(和洋女子大学)

C-1 マクラメの基礎研究

—七宝結びの出来上がり寸法—

文化学園大学短大部 井上昌恵

2020 (令和2) 年度 研究例会の報告

2020年度研究例会は11月8日(日)にオンラインで開催されました。「新型コロナ感染下における美術館・博物館の現状と対応について」と題して共立女子大学長崎巖先生による講演が行われました。出席者は学会員と非学会員を合わせて61名でした。講演の内容は次の通りです。

(研究例会担当 宮武恵子)

【研究例会講演概要】

長崎 巖

2020年2月以来の新型コロナの感染拡大により本学会の活動に様々な支障をきたしたことは、皆さんもすでにご存じのとおりです。春の総会・大会・夏季セミナーに続き、秋の研究例会も講師の先生には御出講いただくことができなくなりました。こうした事情により、私がおの代打として講演を行うことになりました。表題はあえて「新型コロナ感染下における美術館・博物館の現状と対応について」とし、2020年度に私自身が開催にかかわっている展覧会、及び事情があつて情報を得ている展覧会について、新型コロナの感染によってどのような影響を受け、またこれに対してどのような対応を行っているかを、時系列に従ってドキュメンタリー風に報告させていただきました。

報告を行った2020年に開催が決まっていた展覧会には、

○日本

- ・東京国立博物館「きもの」展
- ・泉屋博古館京都本館「ゆかた 浴衣 YUKATA」展
- ・共立女子大学博物館「ベル・エポックからモダンへ」展
- ・神戸市立博物館「コートールド美術館展 魅惑の印象派」展
- ・国立西洋美術館「ロンドン・ナショナル・ギャラリー」展

○イギリス

- ・Victoria and Albert Museum「Kimono: Kyoto to Catwalk」展

○アメリカ

- ・Worcester Art Museum「The Kimono in Print: 300 Years of Japanese Design」展

・Worcester Art Museum「Kimono Couture: The Beauty of Chiso」展

・The Metropolitan Museum of Art「John Weber Collection kimono」展 (仮称)

などがありましたが、それらについて、2月から10月に至る期間に、新型コロナの感染拡大とともに、展覧会の計画がどのように変化していき、学芸員はそれらにどのように対応したかを述べました。

美術館の新型コロナ感染への対応として実際に行われたのは、新型コロナ対策をしたうえで、

- (1) 開催会期を短縮して開催
- (2) 会期を数か月延期・変更して開催
- (3) 会期を翌年まで延期して開催
- (4) 開催中止
- (5) Web上でのバーチャル開催

などでした。

最後にまとめとして、人々の安全を第一に考えながらも、文化財を活用することによってその価値を生かすことを是とするならば、展覧会を開催することは不可欠であり、そのためには、今後どのように新型コロナ等に対応しながら展覧会を開催していくか、を考えなければならぬことを提言しました。

2021年度 夏期セミナーについて

2020年度の夏期セミナー(沖縄研修)は、新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止となりました。現在の状況を鑑みますと、2021年度も従来の形式のセミナー実施は難しいと思われます。そこで、いくつかの大学の博物館・美術館をバーチャルで訪問、見学会を計画中です。

詳細が決まりましたら、HP、スムージーを通してご案内いたします。また、バーチャル訪問が可能な博物館・美術館を現在募集しております。

ご興味をお持ちの方は、夏期セミナー担当杉野服飾大学・安部 (tabe@sugino.ac.jp) までご連絡ください。

(夏期セミナー担当)

2020 (令和2) 年度 論文発表会の報告

今年度の論文発表会は、2021年2月26日(金)の13時より開催された。新型コロナウイルス(COVID-19)の流行で主要都府県に緊急事態宣言が発出されていたこともあり、オンライン会議システムZoomを使用した発表会となった。初の試みであったものの、当日は70名以上の参加者を得ることができた。

今年度の発表者数は、卒業論文が8件、修士論文が2件で、あわせて10件の発表申し込みがあり、テーマも多岐にわたった。

田中淑江副会長の開会の辞に続き、長崎巖会長の挨拶では「コロナ禍という厳しい状況下にあっても研究に取り組み、その成果を発表できることは非常に意義が大きい」と、学生たちや指導教員を労う言葉が述べられた。

卒業論文8件、修士論文2件、計10件の発表の概要は以下のプログラムの通りである。

<プログラム>

開会の辞 副会長：田中淑江 (共立女子大学)

挨拶 会長：長崎巖 (共立女子大学)

【卒業論文】

✳ 座長 富田弘美 (東京家政学院大学)

1. リメイク商品にみるサステイナブルファッションの可能性

滝澤愛由 (実践女子大学)

✳ 座長 大川知子 (実践女子大学)

2. 就活スタイルの在り方

—なぜ学生は同じような格好をするのか—

森さくら (杉野服飾大学)

✳ 座長 玉田真紀 (尚絅学院大学)

3. 新体操における表現 —実物製作—

渡邊りな (文化学園大学)

4. 「白鳥の湖」の研究によるフィギュアスケート衣装制作

後藤ちひろ (東京家政大学)

✳ 座長 中西希和 (秋草学園短期大学)

5. 上海チャイナドレスの研究

—その変遷と華僑との比較考察—

藤野楓 (東京家政大学)

✳ 座長 菅野ももこ (文化学園服飾博物館)

6. 印象派の水辺のモード

—1860年代から1880年代の夏の風景とともに—
高瀬滯 (日本女子大学)

✳ 座長 小山直子 (昭和女子大学)

7. 日本の喪服に関する歴史的研究

—死生観の反映としての喪服—

安田結里奈 (共立女子大学)

✳ 座長 田中淑江 (共立女子大学)

8. 日本の呉服市場から見る着物の現状と展望

福田絵莉香 (大妻女子大学)

【修士論文】

✳ 座長 内村理奈 (日本女子大学)

1. 1890年代～1900年代のアメリカにおける家庭内でのレース作り

—サラ・ハドリーによるモダンレースの普及と理想の母親像—

三宅真未 (お茶の水女子大学大学院)

✳ 座長 中川麻子 (大妻女子大学)

2. ポンパドゥール侯爵夫人のレースとカメオ

—遺産目録の検討をもとに—

木下ミルテ (日本女子大学大学院)

閉会の辞 副会長：内村理奈 (日本女子大学)

※7番目に発表予定であった共立女子大学の安田結里奈さんからは、体調不良のために発表を辞退するとの申し出があった。

以上9件の発表は、コロナ禍によって不自由な環境を強いられながらも、発表者たちが真摯に自身の研究と向き合ってきた成果が良く表れていた。

最後は、内村理奈副会長より「例年に劣らぬ発表内容であった。今後の自信としてほしい」と、発表者への激励で閉会の辞が述べられた。

論文発表会では初のオンライン開催となったが、大きなトラブルもなく無事に会を閉じることができた。遠方からの参加者も見受けられ、オンラインならではのメリットをあらためて確認することができる会であった。

最後に、今回、学生たちに発表を促してくださった先生方、ご協力頂いた先生方に心より御礼申し上げます。

(論文発表会担当 菅野絢子)

***** 事務局より *****

会員異動

【新入会員】

正会員

下山 かおり (文化学園大学)

正会員 (学生)

柘植 伊織 (学習院大学大学院人文科学研究科美術史専攻)

卜部 夏菜子 (大妻女子大学人間生活科学生活環境学専攻)

【退会者】

多田 洋子 (和洋女子大学)

櫻井 映乙子 (和洋女子大学)

三塚 由美子 (聖和学園短期大学)

藤田 恵子 (東京家政学院大学)

笹崎 綾野 (神戸芸術工科大学)

田子 文菜 (國學院大學大学院)

◇◇◇◇◇◇◇◇ 展覧会のお知らせ ◇◇◇◇◇◇◇◇

■展覧会名：ヨーロッパ・モード

会期：2021年2月18日(木)～4月22日(木)

会場：文化学園服飾博物館

■展覧会名：絵画のドレス | ドレスの絵画

会期：2021年2月13日(土)～5月9日(日)

会場：東京富士美術館 (東京都八王子市谷野町492-1)

開館時間：10:00～17:00 (16:30受付終了)

■展覧会名：天野家の雛祭り

一人形が彩る商家の暮らし

会期：2021年3月20日(土)～5月5日(水)

会場：さいたま市岩槻人形博物館 展示室3

開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

■展覧会名：明治の錦絵にみる装い

会場：杉野学園衣裳博物館

会期：2021年4月12日(月)～7月30日(金)

開館時間：月～金 10:00～16:00

土曜日はお問い合わせください

休館日：日曜・祝日・大学の定める休日

■展覧会名：御大典記念特別展

「よみがえる正倉院宝物」

—再現模造にみる天平の技—

会期：2021年4月20日(火)～6月13日(日)

会場：九州国立博物館

■展覧会名：ファッション イン ジャパン 1945-2020

—流行と社会

会期：2021年6月9日(水)～9月6日(月)

会場：国立新美術館

開館時間：10:00～18:00 毎週火曜日休館

■展覧会名：Dreams —to be continued—

高田賢三回顧展

会期：2021年5月21日(金)～6月21日(月)

会場：文化学園服飾博物館

■展覧会名：公益社団法人京都染織文化協会創立80周年記念「再現 女性の服装1500年—京都

の染織技術の粋—」

会期：2021年7月15日(木)～9月28日(火)

会場：文化学園服飾博物館

■展覧会名：特別展「ベル・エポックからモダンへ」

共立女子大学博物館開館5周年記念展

監修：能澤慧子氏 (東京家政大学名誉教授)

会期：2021年10月4日(月)～11月20日(土)

会場：共立女子大学博物館

開館時間：平日10:00～17:00 (土のみ13時迄)

休館日：日曜・祝日・大学の定める休日

◇◇◇◇◇◇◇◇ 近著紹介 ◇◇◇◇◇◇◇◇

山本高美『3D人体計測に基づくアパレルアイテムの開発』風間書房、東京、2020年12月.

会報 No.41：2021(令和3)年3月31日発行

編集発行人：服飾文化学会

事務局：102-8357 東京都千代田区三番町12

大妻女子大学ライフデザイン学科工芸デザイン研究室

TEL：03-5275-5738

E-mail：fukubunjim@gmail.com

URL：http://fukushoku-bunka-gakkai.jp/